



報道発表資料

山形労働局発表
平成29年8月7日(月)

担当 山形労働局 労働基準部 監督課
監督課長 細貝 浩之
主任監察監督官 樋坂 豊仁
電話 023-624-8222

長時間労働が疑われる事業場に対する監督指導結果を公表します。

山形労働局（労働局長 庭山 佳宏）では、このたび、平成28年4月から平成29年3月までに、長時間労働が疑われる371事業場に対して実施した、労働基準監督署による監督指導の実施結果を取りまとめたので、公表します。

この監督指導は、月80時間を超える時間外・休日労働が行われた疑いのある事業場や、長時間労働による過労死等に関する労災請求があった事業場を対象としています。

対象となった371事業場のうち、122事業場（32.9%）で違法な時間外労働を確認したため、是正・改善に向けた指導を行いました。このうち実際に月80時間を超える時間外・休日労働が認められた事業場は、84事業場（68.9%）でした。

山形労働局では、今後も月80時間を超える時間外・休日労働が疑われる事業場などに対する監督指導の徹底をはじめ、長時間労働の是正に向けた取組み（※）を積極的に行っていきます。

【平成28年4月から平成29年3月までの監督指導結果のポイント】

- (1) **監督指導の実施事業場：** **371事業場**
 このうち、231事業場（全体の62.3%）で労働基準関係法令違反あり。
- (2) **主な違反内容** [(1)のうち、法令違反があり、是正勧告書を交付した事業場]
- ① **違法な時間外労働があったもの：** **122事業場（32.9%）**
 うち、時間外・休日労働の実績が最も長い労働者の時間数が
 月80時間を超えるもの： 84事業場（68.9%）
 うち、月100時間を超えるもの： 54事業場（44.3%）
 うち、月150時間を超えるもの： 12事業場（9.8%）
 うち、月200時間を超えるもの： 3事業場（2.5%）
- ② **賃金不払残業があったもの：** **30事業場（8.1%）**
 うち、時間外・休日労働の実績が最も長い労働者の時間数が
 月80時間を超えるもの： 16事業場（53.3%）
- ③ **過重労働による健康障害防止措置が未実施のもの：** **29事業場（7.8%）**
- (3) **主な健康障害防止に係る指導の状況** [(1)のうち、健康障害防止のため指導票を交付した事業場]
- ① **過重労働による健康障害防止措置が不十分なため改善を指導したもの：** **291事業場（78.4%）**
 うち、時間外・休日労働を月80時間※以内に削減するよう指導したもの： 178事業場（61.2%）
- ② **労働時間の把握が不適正なため指導したもの：** **32事業場（8.6%）**
 うち、時間外・休日労働の実績が最も長い労働者の時間数が月80時間を超えるもの： 7事業場（21.9%）
※脳・心臓疾患の発症前1か月間におおむね100時間または発症前2か月間ないし6か月間にわたって、1か月当たりおおむね80時間を超える時間外労働が認められる場合は、業務と発症との関連性が強いとの医学的知見があるため。

～（※）今後予定しているセミナーなどのお知らせ～

- ◎ 「過重労働解消のためのセミナー」の開催
 （平成29年10月5日 14時～16時30分 山形テルサ大会議室（山形市） 【別紙チラシ参照】）
- ◎ 「過労死等防止対策推進シンポジウム」（仮題）の開催
 （平成29年11月14日 13時30分～16時30分 遊学館第1研修室（山形市））